

第4回 埋設処分業務・評価委員会 議事録

1. 日時 平成23年3月2日(水)15:00～17:00
2. 場所 日本酒造会館 6階会議室(酒造会館ビル6階)
3. 出席者(敬称略)
(評価委員)大西(委員長)、片桐、佐藤、田辺
(機構)大澤、原、寺沢、木原、中井、吉岡、山口、坂本

4. 議題

- (1)挨拶
- (2)第3回埋設処分業務・評価委員会 議事録確認
- (3)平成22年度 埋設処分業務の実施状況について
- (4)平成23年度 埋設処分業務に関する計画(案)について
- (5)その他

5. 配布資料

- 資料4-1 第3回埋設処分業務・評価委員会議事録(案)
資料4-2 平成22年度 埋設処分業務の実施状況について
資料4-3 平成23年度 埋設処分業務に関する計画(案)について

6. 議事概要

(1)埋設事業推進センター長挨拶

今委員会では、平成22年度の埋設処分業務の実施状況についてご報告するとともに、同業務状況を踏まえて作成した平成23年度の埋設処分業務に関する計画(案)についてご審議をお願いしたい。なお、平成23年度に埋設処分業務の実施に関する計画の変更認可申請を予定している。

(2)第3回埋設処分業務・評価委員会 議事録案等確認

資料4-1に基づき、事務局より前回議事録案について説明し、承認が得られた。

(3)平成22年度 埋設処分業務の実施状況について

資料4-2に基づき、事務局より平成22年度の埋設処分業務の実施状況について説明。主な質疑応答は以下の通り。



【委員】「埋設施設設置に関する技術専門委員会」は、今後どの程度開催を予定しているの

か。また、同委員会での取りまとめの位置付けは。

【機構】 今後、数回の開催を見込んでおり、委員会での議論を取りまとめる。なお、立地基準及び立地手順は、原子力機構の責任において策定する。

【委員】 処分料金は、1回払いとするのか、それとも継続的に毎年徴収する形とするのか。

【機構】 処分の委託を受けた廃棄体を受け入れた時に処分料金を受領し、契約完了するものと考えている。



【委員】 埋設事業は、プロジェクトとしての規模が大きく長期にわたるため、リスクも大きい。原子力機構が合理性や透明性をもって、処分料金を支払う側（委託者）が納得できるよう、事業に係るリスクを十分踏まえた受託契約や処分単価が設定されることを期待する。

【機構】 事業に係るリスクも含め、処分単価設定や受託契約については、現在検討中である。今後、埋設事業の特性を踏まえ、税務処理や会計処理に関する事項について、専門家に相談し、議論を詰めていきたいと考えている。

【委員】 現状設定されている施設の規模で全ての廃棄物を処分する事は可能か。施設規模に余裕を持たせているのか。

【機構】 平成 20 年度に実施した調査で、平成 60 年度までに発生が見込まれる廃棄体数量は約 53 万本との結果を得ており、施設規模は余裕をもたせて 60 万本に設定している。

【委員】 模型や視聴覚映像などの広報素材の制作状況はどうか。どのような場で利用するのか。

【機構】 模型は完成している。視聴覚映像は、現在制作中であり、年度末に完成予定である。

広報素材の使用目的としては、全国広報としてウェブサイト上に掲載し、多くの方の目に触れていただけるようにするとともに、個別の地点を対象にした活動を実施する段階で、地域の方への説明会などの場での利用を考えている。

【委員】 広報のためなどにアンケート等を行っているのか。

【機構】 広報素材に反映するためにアンケート等を実施している。



(4) 平成 23 年度 埋設処分業務に関する計画(案)について

資料 4-3 に基づき、事務局より平成 23 年度の埋設処分業務に関する計画(案)について説明。

【委員長】 平成23年度埋設処分業務に関する計画(案)の内容は妥当である。平成22年度の埋設処分業務の実施状況に係る審議において出された意見等を踏まえて、平成23年度の埋設処分業務に関する計画を進めていくこと。

【機構】 本審議結果をもって所要の手続きを進め、平成23年度の埋設処分業務に関する計画を策定し、同計画に従って次年度の業務を実施していくこととする。

(5)その他

次回委員会の開催は、6月頃を予定している。

以上